

デジタル田園都市国家構想交付金

事業シート

第8回八戸市総合計画等推進市民委員会

令和6年 11 月 14 日

八 戸 市

事業シート目次

No. 1	はちのへ AI（アイ）中心街・バス活性化プロジェクト（推進）	P 3
No. 2	いきいきとしたデジタル社会推進事業（推進）	P 6
No. 3	蕪島エントランス整備事業（拠点）	P 8
No. 4	多賀多目的運動場スタジアム照明整備事業（拠点）	P 10
No. 5	市営魚菜小売市場を核とした官民連携による個性あふれる商店街の形成と水産業の振興（拠点）	P 12
No. 6	旧柏崎小学校跡地広場（仮称）を新たな観光資源とした中心市街地の賑わい創出と八戸三社大祭の振興・伝承事業（拠点）	P 14

事業シートの見方

No.○ □□□□□事業（推進・拠点）

※事業名とデジタル田園都市国家構想交付金（推進）または、デジタル田園都市国家構想交付金（拠点）のどちらを活用したか記載しています。

1. 事業概要

担当部署：△△△△課

目 的	※本事業の目的を記載しております。
事業期間	令和〇〇年度～令和〇年度（〇年間）
令和5年度実績額	総事業費：〇〇〇〇千円（うち国費：〇〇〇〇千円） ※千円以下は切り捨て
交付金事業の取組及び実績	【過去の取り組み】 ※別紙資料2参照 【令和5年度の取組】 ※本事業に関する取組及び実績を記載しております。 ※千円以下は四捨五入
K P I	※別紙資料2参照
担当部署評価	※担当部署において、凡例を基に5段階の評価をしております。 ☐①地方創生に非常に効果的であった ☐②地方創生に相当程度効果があった ☐③地方創生に効果があった ☐④地方創生に対して効果がなかった ☐⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	※上記の評価をした理由を記載しております。

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ☐ ① 地方創生に非常に効果的であった
- ☐ ② 地方創生に相当程度効果があった
- ☐ ③ 地方創生に効果があった
- ☐ ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ☐ ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.1 はちのへ AI（アイ） 中心街・バス活性化プロジェクト（推進）

1. 事業概要

担当部署：政策推進課、情報政策課、
まちづくり推進課

目 的	デジタル技術を活用し、中心街への誘客推進と公共交通の利用促進を図るとともに、人流データ等を活用した中心街の賑わい創出やバス路線の最適化に向けた施策立案を行い、さらなる市政発展に繋げていくことを目的とする。
事業期間	令和4年度～令和6年度（3年間） ※横展開タイプ
令和5年度実績額	総事業費：101,205 千円（うち国費：50,602 千円）
交付金事業の取組及び実績	【過去の取組】 別紙参考資料2 1ページ 【令和5年度の取組】 ①各種アプリを活用した中心街活性化イベントの開催【まちづくり推進課】 概要：（株）まちづくり八戸が、市が開発した各種アプリ（はちまちアプリ等）やまちなか Wi-Fi を活用して実施する中心街でのイベントに係る経費について補助するもの。（補助率 1/2） 実績：第71回八戸七夕まつり（7/15（土）、7/16（日））開催 来場者数：253 千人 事業費：912 千円 ②はちまちアプリの運営【まちづくり推進課】 概要：中心街のスポットやイベント情報、店舗紹介など情報を発信するはちまちアプリを活用し、中心街のイベントと連動して中心商店街のクーポンの配布を行うことで、来街者の増加を図るとともに、はちまちアプリ登録者の増加を図り、将来的な自走につなげるもの。 実績：はちまち LINE 登録者数 6,718 人（令和6年9月30日現在） 事業費：4,818 千円 ③バス IC カードポイント付与システム・キャッシュレス決済システムの開発・実装等【政策推進課】 概要：バス乗降データ等を簡単に可視化できるシステムを構築し、データの分析・活用に関する検討を行い、交通政策の効果シミュレーションやバス路線最適化等の施策立案を行うもの。 実績：有識者やバス事業者を交えてシステム導入に向けた検討会議を5回開催し、交通データ統合分析サービスを開発・導入（Will Smart 社） 事業費：26,900 千円 ④ハチカ（バス IC カード）ポイント付与、キャッシュレス決済端末 12 台【政策推進課】 概要：市内各主要施設にキャッシュレス決済に係る設備を設置し、はちのへポイント（上限 200 万ポイント）の付与でインセンティブを与え、I C カード「ハチカ」の利用促進を図る。 実績：市内 14 施設にキャッシュレス決済端末設置 キャッシュレス決済端末の使用回数：18,702 回 市内 17 施設にはちのへポイント付与端末設置 付与ポイント数：421,200P 利用ポイント数：375,336P 事業費：3,000 千円

⑤ 八戸市中心市街地駐車場共用化システムの開発・支援【まちづくり推進課】

概要：バス IC カードポイント「はちのへポイント」を活用し、中心市街地に位置する駐車場
で共通して使用可能なまちなか共通駐車券「おんでカード」に交換するためのシステム
を開発し、交換機を公共施設に設置するもの。

実績：おんでカード交換機設置 2 か所
(八戸市美術館、八戸市ポータルミュージアムはっち)

事業費：9,988 千円

**⑥ 八戸市中心市街地駐車場共用化システムの拡大に伴う店舗でのポイント付与端末
導入費【まちづくり推進課】**

概要：八戸市中心市街地駐車場共用化システムの利用促進のため、中心市街地の加
盟店舗にはちのへポイント付与端末を設置し、駐車場の利用者数向上と中心街へ
の誘客推進につなげるもの。

実績：はちのへポイント付与端末設置台数 20 台

事業費：4,040 千円

⑦ 八戸市中心市街地駐車場共用化システムへの参加店舗、駐車場の募集、

ハチカポイントの管理【まちづくり推進課】

概要：八戸市中心市街地駐車場共用化システムの利用促進を図るため、周知・広報活
動を行うとともに、はちのへポイントの付与及びおんでカードへの交換状況を集計・管
理し、本システムの効果検証を行うもの。

実績：まちなか共通駐車券交換枚数 100 円券 376 枚、150 円券 74 枚

おんでカード 加盟店舗数 96 店（前年度比▲3）

加盟駐車場数 25 件（前年度比+1）

※令和 6 年 3 月 31 日時点

事業費：1,779 千円

⑧ MaaS システム開発【政策推進課】

概要：上記③で開発した「バス IC カード可視化・分析システム」について、交通事業者
にとって使いやすく、閲覧者にとってわかりやすいシステムに改修するもの。

実績：有識者やバス事業者を交えてシステム改修に向けた検討会議を 2 回開催し、交
通データ統合分析サービスを改修（Will Smart 社）

・IC カードデータのクレンジング機能追加

・下記⑨の AI カメラで取得されるデータの可視化

・データ出力機能追加

事業費：11,990 千円

⑨ まちなか Wi-Fi（15 台）、AI カメラ（11 台）の整備【まちづくり推進課】

概要：中心市街地へのフリー Wi-Fi を設置することにより、市民、観光客、ビジネス客等
を含めた誘客推進を図るとともに、回遊性アプリと合わせて来街機会・回遊行動の
創出を図るもの。また、歩行者通行量の把握やバス路線の最適化等を目的とし
た、人流分析システムを運用するために AI カメラを設置するもの。

実績：まちなか Wi-Fi 14 か所 令和 5 年 9 月 22 日全台設置完了

AI カメラ 12 か所（16 台） 令和 5 年 10 月 4 日全台設置完了

事業費：34,650 千円

⑩ 各種アプリ・システム使用料、まちなか Wi-Fi 通信費等【まちづくり推進課】

概要：市が開発した各種アプリやまちなか Wi-Fi の通信費等。

実績：まちなか Wi-Fi 及び AI カメラデータ送信にかかる回線使用料

(令和 5 年 7 月～令和 6 年 3 月分)

事業費：3,128 千円

	【（参考）令和 6 年度の主な取組】 ・はちまちアプリの運営 ・MaaS システムの活用 ・まちなか Wi-Fi、AI カメラの整備 ・バスナビモニターの更新
K P I	別紙資料 2 2 ～ 3 ページ参照
担当部署 評価	☐ ① 地方創生に非常に効果的であった ☐ ② 地方創生に相当程度効果があった ☒ ③ 地方創生に効果があった ☐ ④ 地方創生に対して効果がなかった ☐ ⑤ 効果の有無はまだわからない
担当部署 評価理由	● KPI の一つである「中心市街地歩行者通行量」について、調査が AI カメラ及びまちなか Wi-Fi 設置完了前であったことから、効果検証はできていない状況であり、はちまちアプリについては、登録者数の増加など一定の利用状況の増加は見られるが、KPI の「満足度」については令和 6 年度に調査実施予定である。 ● バス路線の減便や人口減少によりバス利用者数の KPI は未達成であるが、データの活用によるバス路線の最適化を図るための仕組みが整ったことから、バス停ごとの利用状況をふまえ、路線バスの利便性向上や効率運行について関係者と引き続き検討していく。 ● 市主要施設におけるキャッシュレス決済使用件数は KPI を大きく上回っており、地域の活性化に伴う地方創生の効果があったものとする。

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ☐ ① 地方創生に非常に効果的であった
- ☐ ② 地方創生に相当程度効果があった
- ☐ ③ 地方創生に効果があった
- ☐ ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ☐ ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.2 いきいきとしたデジタル社会推進事業（推進）

担当部署：情報政策課、総合教育センター

1. 事業概要

目 的	IT フォーラム等により、地元 IT 企業の連携強化を図り、デジタル人材の確保や地域のデジタル化に関する産学官連携を促進するとともに、八戸市児童科学館のデジタルリノベーションに向けた設計業務等を行うことにより、子どもの遊ぶ場の確保、新たな「学び」を提供する拠点づくりを目指すもの。			
事業期間	令和5年度～令和7年度（3年間） ※横展開タイプ			
令和5年度実績額	総事業費：14,662 千円（うち国費：7,331 千円）			
交付金事業の取組及び実績	【令和5年度の取組】			
	①地元 IT 企業の連携を深め、地域のデジタル化を図る事業【情報政策課】			
	概要：地元 IT 企業が一堂に会する IT フォーラムの開催やデジタルに関するワークショップの開催など地域のデジタル化への機運の醸成を図るとともに、地元 IT 事業者や中小企業、高等教育機関を対象に、デジタル化に関する認知度調査の実施やデジタル化に関するニーズと技術のマッチング等、地域のデジタル人材の育成・確保につなげていく。			
	R5 事業内容及び実績：			
	名称	開催日	参加者数	満足度（%）
	はちのへITフォーラム2023	令和5年10月25日	203名	86%
	Part1 未来へつなぐ学生と先輩エンジニア交流会	令和6年3月9日	22名	100%
	Part2 中心街を賑やかにするSNSセミナー	令和6年3月11日	34名	90%
	Part3 ノーコードローコードツール研修ワークショップ	令和6年3月20日	31名	47%
	Part4 デジタル人材が手をつなぎデジタル社会を描くアイデアソン	令和6年3月21日	44名	100%
		合計 334名	平均 85%	
	事業費：5,862 千円			
	②遊びが学びに変わる～八戸市児童科学館デジタルリノベーション推進事業【総合教育センター】			
	概要：八戸市児童科学館にデジタルアクティビティを導入し、劇的にリニューアルすることで、市内 IT 企業や地元大学との連携したデジタルに関連する産学官連携事業の推進とともに、GIGA スクール構想に基づく学校教育との連動性を図っていくための今後の方向性や構想等をまとめた基本計画を策定する。			
	実績：八戸市児童科学館のデジタルリノベーションに係る基本計画策定			
	事業費：8,800 千円			

K P I	別紙資料 2 5～6 ページ参照
担当部署 評 価	☐ ①地方創生に非常に効果的であった ☒ ②地方創生に相当程度効果があった ☐ ③地方創生に効果があった ☐ ④地方創生に対して効果がなかった ☐ ⑤効果の有無はまだわからない
担 当 部 署 評 価 理 由	● 地元 IT 企業との連携、地域のデジタル化の促進に関わる 3 つの KPI はすべて達成しており、地域のデジタル化を図る事業に関する満足度は 85%という結果であったため。 ● また、IT フォーラムを開催したことにより、産学官連携の基盤が強化され、地域全体でデジタル化を進める意識が高まり、ワークショップでは IT 活用方法や実践的な IT スキルの共有により、地域のデジタル人材の育成に寄与したため。 ● なお、今年度は、八戸市児童科学館のデジタルリノベーションの推進に向けた設計業務を進めており、KPI として設定しているデジタルコンテンツ利用者数に係る効果検証は、2025 年度以降となる予定。

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ☐ ①地方創生に非常に効果的であった
☐ ②地方創生に相当程度効果があった
☐ ③地方創生に効果があった
☐ ④地方創生に対して効果がなかった
☐ ⑤効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.3 蕪島エントランス整備事業（拠点）

1. 事業概要

担当部署：観光課

目 的	三陸復興国立公園の北の玄関口である蕪島地区において、地域の特産品や土産品等の販売のほか、休憩もできる憩いの空間としての蕪島物産販売施設を整備することで、蕪島地区での滞在時間の延長、地域の賑わいの創出及び地域経済の振興を図ることを目的とする。 また、令和2年3月に、当市を代表する観光スポットである蕪嶋神社の再建工事が完了し、令和2年5月に物産販売施設がオープンした。観光入込客数の増加、地域経済活性化等の相乗効果を図ることで年間10万人以上の集客を目指す。
事業期間	令和元年4月～令和2年3月
令和5年度実績額	- ※総事業費：126,874千円（うち国費：64,437千円）
交付金事業の取組及び実績	【過去の取組】 別紙資料2 7ページ参照 【令和5年度の取組】 蕪島物産販売施設の運営 概要：物産機能、飲食提供機能、休憩機能を持つ物産販売施設を運営する。 実績：来店者 226,151人 事業費：6,583千円（市単費）
K P I	別紙資料2 8～9ページ参照
担当部署評価	☒①地方創生に非常に効果的であった ☐②地方創生に相当程度効果があった ☐③地方創生に効果があった ☐④地方創生に対して効果がなかった ☐⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	● 売上金額及び入込客数ともに KPI の目標値を上回っており、事業の目的とする効果が十分に得られたと考える。



2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ☐ ① 地方創生に非常に効果的であった
- ☐ ② 地方創生に相当程度効果があった
- ☐ ③ 地方創生に効果があった
- ☐ ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ☐ ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.4 多賀多目的運動場スタジアム照明整備事業（拠点）

1. 事業概要

担当部署：スポーツ振興課

目 的	多賀多目的運動場天然芝球技場において、夜間も興行等を行えるような照明設備を設置し、Ｊリーグが求めるスタジアム基準を満たすホームスタジアムの整備を行う。また、関連する事業を強化していくことで、県内外からより多くの来訪者を呼び込み、交流人口の拡大を通じた地域経済の活性化と観るサッカー文化の醸成を図る。
事業期間	令和２年４月～令和３年３月
令和５年度実績額	－ ※総事業費：655,424 千円（うち国費：327,712 千円）
交付金事業の取組及び実績	【過去の取組】 別紙資料２ 10 ページ参照 【令和５年度の取組】 多賀多目的運動場天然芝球技場の運営 概要：照明設備を使用し、Ｊリーグ公式戦においてナイトゲームを開催する。 照明設備を使用し、市民等に向けた夜間の興行を行う。 実績：公式戦 21 試合開催（ナイトゲーム 8 試合）
K P I	別紙資料２ 11～12 ページ参照
担当部署評価	☐①地方創生に非常に効果的であった ☐②地方創生に相当程度効果があった ☒③地方創生に効果があった ☐④地方創生に対して効果がなかった ☐⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	KPI は目標値に達しなかったものの、Ｊリーグ公式戦ナイトゲームでは、９月 30 日の松本山雅 FC 戦において観客動員数 3,613 人を記録するなど、地域経済の活性化と観るサッカー文化の醸成に一定の効果があったと思われる



2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ☐ ① 地方創生に非常に効果的であった
- ☐ ② 地方創生に相当程度効果があった
- ☐ ③ 地方創生に効果があった
- ☐ ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ☐ ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.5 市営魚菜小売市場を核とした官民連携による個性あふれる商店街の形成と水産業の振興（拠点）

1. 事業概要

担当部署：まちづくり推進課

目 的	陸奥湊駅通り地区商店街を牽引してきた代表的な施設である市営魚菜小売市場のリニューアルを通して、小売機能の再生による商店街の振興、魚食普及による水産業振興、観光機能の充実による誘客推進のそれぞれが機能し、相乗効果を生むことで地区の活性化を目指す。
事業期間	令和3年4月～令和4年11月
令和5年度実績額	－ ※総事業費：517,386千円（うち国費：258,693千円）
交付金事業の取組及び実績	【過去の取組】 別紙資料2 13ページ参照 【令和5年度の取組】 八戸市魚菜小売市場の管理・運営 概要：入居店子及び貸館スペースの施設使用料管理、 施設内の警備・清掃及び電気機械設備の維持管理等 実績：入場者数 261,374人 事業費：12,990千円（市単費） ※使用料収入9,650千円を除く実質市負担額は約3,340千円）
K P I	別紙資料2 14～15ページ参照
担当部署評価	☐①地方創生に非常に効果的であった ☒②地方創生に相当程度効果があった ☐③地方創生に効果があった ☐④地方創生に対して効果がなかった ☐⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	施設改修を通じて、関係者が一体となったりリニューアルオープンに向けての活動や、オープン後の集客力アップにより関係人口・交流人口の拡大につながった。現在、魚菜小売市場周辺ではまちづくり会社による民間市場群の再整備が進められており、さらなる波及効果の発現が期待される。



2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ☐ ① 地方創生に非常に効果的であった
- ☐ ② 地方創生に相当程度効果があった
- ☐ ③ 地方創生に効果があった
- ☐ ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ☐ ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.6 旧柏崎小学校跡地広場（仮称）を新たな観光資源とした中心市街地の賑わい創出と八戸三社大祭の振興・伝承事業（拠点）

1. 事業概要

担当部署：観光課

目 的	旧柏崎小学校跡地の広場に山車を制作できる施設を整備することで、日本を代表する山車祭りである八戸三社大祭の保存・継承を図るとともに、お囃子の練習風景や山車制作の様子など、祭りにより身近に触れ合える施設として観光誘客の促進や地域住民の愛着醸成につながるものである。
事業期間	令和5年6月～令和6年3月
令和5年度実績額	総事業費：389,860千円（うち国費：194,930千円）
交付金事業の取組及び実績	【令和5年度の取組】別紙資料2 16ページ参照 ①山車展示・制作施設建築工事（建築、電気設備、機械設備等） 概要：八戸三社大祭の山車を展示・制作できる施設の建設（全6棟）。 実績：令和6年3月竣工、7月供用開始 事業費：378,310千円 ②三社大祭デジタルコンテンツ制作業務委託 概要：令和5年度の八戸三社大祭の神社行列や各山車組が制作した山車を映像として記録し、翌年度以降、中心市街地の回遊の際に活用できる観光VRコンテンツとして展開する。 実績：（1）山車運行動画撮影・360°動画、3分程度×3本制作。データ納品 （2）お祭りの歴史紹介動画撮影（ビギナー編、マニア編） （3）周辺施設紹介動画撮影（①美術館、②はっち、③ブックセンター、④おがみ神社、⑤旧柏崎小、⑥8つの横丁） 事業費：11,550千円
K P I	別紙資料2 17～18ページ参照
担当部署評価	☐①地方創生に非常に効果的であった ☐②地方創生に相当程度効果があった ☐③地方創生に効果があった ☐④地方創生に対して効果がなかった ☒⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	● 令和6年7月31日に供用開始した当施設では各山車組が順次入居しており、現在引越作業が続いている。引越作業が落ち着き次第、山車制作の見学や展示を予定するが、施設前の広場工事に来年度着工するため、当施設を活用した本格的なイベント等の実施による効果の発現は、広場供用開始予定の令和10年以降となる見込みである。



2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ☐ ① 地方創生に非常に効果的であった
- ☐ ② 地方創生に相当程度効果があった
- ☐ ③ 地方創生に効果があった
- ☐ ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ☐ ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合